



都井岬で、といくんみさきちゃんと

「みやがろう串間」

宮崎日日新聞串間支局の記者として、今年3月末までの3年間、串間で暮らしました。

串間では市役所近くにある事務所兼住居の支局に単身赴任。記者は1人しかいないため、1年365日、仕事に追われる日々。忙しい生活の中、串間の方々が支局に遊びに来てくれたり、差し入れを持ってきたり、温かく応援してくれたのが、大きな励みになりました。そのおかげで3年間を乗り切ることができたと感謝しています。

今回は宮崎日日新聞の日南・串間面で、串間を離れる直前に書いたコラム「岬太郎」で書き足りなかった「串間の情報発信力」について、再び書きたいと思います。

串間市の人口は約1万8000人。人口減少が急速に進み、徐々にまちの活気がなくなっているようにも映ります。ですが「食」を見ると、特産の甘藷や宮崎牛、キンカンなどの柑橘類、茶や野菜など誇れる食材がずらり。養殖ブリやトビウオなど魚介類も豊富です。

加えて焼酎蔵元が3社あり、「ぶりぶり井ぶり」や「大東ホルモン」「牛炙り寿司」などのグルメも充実。県内を見渡しても、これほど海、山

の幸がバランス良くある自治体は少ないのではないだろうか。

食だけでなく、観光面でも全国的に有名な都井岬や、幸島を含む石波海岸をはじめ、高松、本城地区などにも名所がたくさん。人口は減つても、串間の持つ潜在能力は高く、伸びしろはまだまだあるように思います。

ですが、生かされていない。串間から人は少しずつ減り、まちの元気がなくなっています。いまの串間に何が足りないのか。その答えの一つが「情報発信力」です。

3年前に串間に来た時に受けた第一印象は「寂しいまち」でした。駅前の通りには目立つ看板も少なく、営業しているのか分からない店が多かったからです。暮らすうちに、そんなイメージはなくなりましたが、そこに串間の市民性が表れているように思います。

それは「みやがらない」ようにするということ。「みやがる」とは「調子に乗っている」「いい気になっている」といった意味の宮崎の方言。串間の人は「みやがっている」人を批判するあまり、他人から「みやがっていない」ように思われようと、目立つことを嫌う性分の人が多い



まえだ じゅんいちろう
前田 潤一郎(38歳)

宮崎市佐土原町出身。中央大学文学部哲学科卒。宮崎日日新聞社に入社し報道、整理部。趣味はアクアリウムで金魚とエビを飼育。好きな食べ物は焼肉。

いのではないだろうか。

たとえば隣の日南市。油津商店街の再興やIT企業、クルーズ船の誘致などメディアへの露出も多く、全国の自治体などから視察も相次いでいます。実際はどうなのかは分かりませんが、どこかまちが元気な印象です。もし目立とうとしなければ、ここまでなかったはず。

明るい話題やニュースはまちを元気にします。このまま目立とうとしなければ、せっかくのいい素材が埋もれてしまいます。情報発信力を上げるということは市民一人ひとりがもっと「目立つ」意識を持つことです。

これから串間の街中には道の駅ができ、吉松家周辺も大きく変わります。都井岬にも休憩施設ができ、串間温泉もリニューアルします。今まさに追い風が吹いています。もっとみやがって、目立つてください。

宮崎市から、応援しています。

情報 アラカルト

串間で行われるイベントや
まちの話題まで、見逃せない
情報が満載です。

TOPIC

4個人・1団体たたえる
社会福祉功労者等表彰



4月23日、市総合保健福祉センターで平成31年度串間市社会福祉功労者等表彰式が行われ、4個人・1団体の功績をたたえました。表彰式では、長年にわたり社会福祉の増進に尽力され、多大な貢献をいただいた大野敏夫さん、池田和子さん、安永忠信さん、東久代さん、串間市点訳サークルカンナの方々に市長より表彰状と記念品が贈られました。

TOPIC

串間の「くしま茶」PR



5月15日、串間市の「くしま茶」をPRしようと、スーパーほりくち西浜店で新茶まつりが開催されました(串間市茶業振興会主催)。担当者・生産者らがぬるめのお湯で丁寧に入れた新茶の試飲を呼び掛けると、買い物客は足を止めて新茶を試飲され、「おいしい」「甘い」と口にし、次々と新茶を購入していました。

TOPIC

環境問題取り組みの寄付金贈呈



5月17日、串間中学校で環境問題への取り組みに役立ててもらうため、南郷信用金庫から同校へ寄付金が贈呈され、その後記念植樹式が行われました。同信用金庫は「エコみらい運動」の一環で、環境問題・省エネに取り組む団体や学校に寄付金を寄贈しています。寄付金は、学校内外で美化活動を中心に活用予定です。

TOPIC

大東小学校で新1年生への
交通安全教室開催



4月15日、大東地区青少年育成協議会による大東小学校新1年生9名への交通安全教室が行われました。まぶしい朝日のなか子どもたちは交通安全指導員の話を聞いた後、交差点の横断歩道を横断して安全確認の方法を学んでいました。交通ルールをきちんと守って、これからも元気に学校へ通ってください。

TOPIC

JAはまゆう
太陽のタマゴを市長に贈呈



4月17日、串間産完熟マンゴーをPRしようと、JAはまゆう果樹部会垂熟帯果樹専門部が、収穫が本格化している完熟マンゴーのうち最高品質の「太陽のタマゴ」を市長へ贈呈しました。試食した市長も「甘くておいしい」と太鼓判を押していました。出荷は4月上旬から始まり、5月中旬から6月中旬にかけてピークを迎えます。